

平成25年 「北海道アイヌ生活実態調査」の実施結果について（概要）

1 調査の目的

この調査は、北海道におけるアイヌの人たちの生活実態を把握し、今後の総合的施策のあり方を検討するため、必要な基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の対象

この調査における「アイヌ」とは、「地域社会でアイヌの血を受け継いでいると思われる方、また、婚姻・養子縁組等によりそれらの方と同一の生計を営んでいる方」とした。

ただし、アイヌの血を受け継いでいると思われる方であっても、アイヌであることを否定している場合は調査の対象とはしていない。

3 調査の時点

平成25年10月1日

4 調査の種類

次の4つの調査を実施した。

(1) 市町村調査	アイヌの人たちが居住する市町村を対象として、生活、教育の状況などを市町村が調査
(2) 地区調査	各市町村のアイヌの人たちが居住する地区を対象として、生活保護、課税の状況などを市町村が調査
(3) 世帯調査	無作為抽出した300世帯を対象として、家族、所得、住居等の状況などを知事が委嘱した調査員が、面接により調査
(4) アンケート調査	世帯調査の実施世帯における15歳以上の世帯員を対象として、今後の対策や差別などを知事が委嘱した調査員が、面接により調査

5 調査の結果

調査の対象としたアイヌの人数は、**6,880世帯、16,786人**（前回：8,274世帯、23,782人）となっており、前回調査と比較すると、大学への進学率は増加しているが、高校への進学率は減少し、生活保護率が上昇するなど各調査項目において変動が見られる結果となっている。

また、アイヌ居住市町村との比較においても、未だ差が見られる結果となっている。

主な調査結果は以下のとおり。

(1) 「市町村調査」の結果

① 調査の対象としたアイヌの人たちの状況

区 分	今回調査	前回調査	増 減
アイヌ居住市町村数	66市町村	72市町村	6市町村減
アイヌの人数	16,786人	23,782人	6,996人減
アイヌの世帯数	6,880世帯	8,274世帯	1,394世帯減

※道内に居住するアイヌの人たちの全数ではない。

② 生活の状況〔生活保護率の状況〕

区 分	今回調査	前回調査	増 減
アイヌの人たち	44.8%	38.3%	6.5ポイント増
アイヌ居住市町村	33.1%	24.6%	8.5ポイント増

※生活保護率の単位は「%」（1°-ミル=千分率）

③ 教育の状況〔進学率の状況〕

区 分		今回調査	前回調査	増 減
高校	アイヌの人たち	92.6%	93.5%	0.9ポイント減
	アイヌ居住市町村	98.6%	98.3%	0.3ポイント増
大学	アイヌの人たち	25.8%	17.4%	8.4ポイント増
	アイヌ居住市町村	43.0%	38.5%	4.5ポイント増

④ 就業者の状況〔15歳以上の就業者〕

区 分		今回調査	前回調査	増 減
第一次産業	農業・林業	9.7%	8.5%	1.2ポイント増
	漁業	26.3%	20.1%	6.2ポイント増
	小 計	36.0%	28.6%	7.4ポイント増
第二次産業	鉱業	0.9%	0.3%	0.6ポイント増
	建設業	11.2%	18.0%	6.8ポイント減
	製造業	6.9%	9.4%	2.5ポイント減
	小 計	19.0%	27.7%	8.7ポイント減
第三次産業		40.4%	41.1%	0.7ポイント減
分類不能の産業		4.6%	2.6%	2.0ポイント増

⑤ 農林漁業の状況

ア 経営耕地面積規模別及び専業・兼業農家の割合

区 分		今回調査	前回調査	増 減
面積規模別	3ha未満	24.4%	23.8%	0.6ポイント増
	3～10ha未満	42.4%	46.2%	3.8ポイント減
	10ha以上	33.2%	30.0%	3.2ポイント増
専業・兼業別	専業	56.1%	56.4%	0.3ポイント減
	第一種兼業	30.2%	22.3%	7.9ポイント増
	第二種兼業	13.7%	21.3%	7.6ポイント減

イ 経営形態別漁業経営体の割合

区 分		今回調査	前回調査	増 減
漁船	無動力	0.3%	0.9%	0.6ポイント減
	3トン未満	33.2%	41.6%	8.4ポイント減
	3～5トン未満	13.7%	12.3%	1.4ポイント増
	5～10トン未満	10.7%	11.0%	0.3ポイント減
	10トン以上	4.1%	4.0%	0.1ポイント増
小型定置		8.6%	0.6%	8.0ポイント増
大型定置		0.5%	5.3%	4.8ポイント減
養殖		24.4%	21.0%	3.4ポイント増
その他		4.4%	3.3%	1.1ポイント増

⑥ 住宅の状況〔持家住宅の老朽程度〕

区 分		今回調査	前回調査	増 減
修理の必要なし		50.8%	51.8%	1.0ポイント減
小修理を要する		32.4%	31.8%	0.6ポイント増
大修理を要する		8.9%	8.8%	0.1ポイント増
修理不能		1.5%	1.7%	0.2ポイント減
増改築を要する		3.2%	5.3%	2.1ポイント減
不明		3.2%	0.5%	2.7ポイント増

(2) 「地区調査」の結果

① アイヌの人たちが居住する地区数

地区類型	今回調査	地区類型の定義
都市型	384地区	地区の主な産業が第二・三次産業で市街地を形成している地区
農村型	81地区	地区の主な産業が農林業による地区
漁村型	107地区	地区の主な産業が漁業による地区
民芸品製作型	1地区	地区の主な産業が民芸品製作販売による地区
混合型	116地区	上記2以上の類型が相半ばしている地区
地区全体	689地区	

② 地区類型別世帯数・人数

地区類型	今回調査		前回調査		増減	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
都市型	3,016世帯	7,047人	3,662世帯	10,091人	646世帯減	3,044人減
農村型	737世帯	1,723人	781世帯	2,170人	44世帯減	447人減
漁村型	1,190世帯	3,301人	1,237世帯	3,774人	47世帯減	473人減
民芸品製作型	52世帯	123人	64世帯	155人	12世帯減	32人減
混合型	1,885世帯	4,592人	2,530世帯	7,592人	645世帯減	3,000人減

(3) 「世帯調査」の結果

① 世帯の年間所得の状況

区分	今回調査	前回調査	増減
100万円未満	11.6%	8.1%	3.5ポイント増
100～199万円	20.0%	13.4%	6.6ポイント増
200～349万円	26.4%	31.0%	4.6ポイント減
350～499万円	17.3%	20.4%	3.1ポイント減
500万円以上	16.7%	24.6%	7.9ポイント減
未回答	8.0%	2.5%	5.5ポイント増

② 生活意識

区分	今回調査	前回調査	増減
とても苦しい	27.3%	29.7%	2.4ポイント減
多少困る程度	50.3%	51.4%	1.1ポイント減
少しゆとりがある	17.7%	18.3%	0.6ポイント減
豊かである	0.0%	0.3%	0.3ポイント減
未回答	4.7%	0.3%	4.4ポイント増

(4) 「アンケート調査」の結果

① アイヌの人たちが必要としている対策（複数回答）

区分	今回調査	前回調査	増減
教育の充実	67.9%	78.6%	10.7ポイント減
アイヌ文化の保存と伝承	38.6%	32.0%	6.6ポイント増
生活と職業の安定	51.8%	50.2%	1.6ポイント増
産業の振興	19.2%	17.5%	1.7ポイント増
住宅や生活環境の整備	19.4%	18.7%	0.7ポイント増

② 幼稚園、保育所、塾への通園状況（新規調査）

ア 幼稚園、保育所への通園状況

幼稚園のみ	保育所のみ	両方	通っていない	不詳・無回答
15.7%	36.3%	4.4%	39.2%	4.4%

イ 塾への通園状況

通った	通っていない	不詳・無回答
16.9%	79.3%	3.8%

（家庭教師を含む）

③ 「アイヌである」と感じた時期（新規調査）

小学校入学前	小学生の頃	中学生の頃	高校生の頃	高校卒業以降	わからない	不詳・無回答
16.0%	22.5%	7.8%	2.6%	2.6%	24.6%	23.9%

④ 差別経験の有無（複数回答）

区 分	今回調査	前回調査	増 減
差別を受けたことがある	23.4%	16.8%	6.6ポイント増
うち最近6・7年	1.9%	2.1%	0.2ポイント減
自分はないが、他人が受けたのを知っている	9.6%	13.8%	4.2ポイント減
うち最近6・7年	0.5%	1.1%	0.6ポイント減
受けたことがない	35.5%	44.9%	9.4ポイント減
わからない、不詳・無回答	31.5%	24.5%	7.0ポイント増